

「最近、お弁当がおいしい」

京都で長年宣教師をしていたイギリス人パトリック・マケリゴットさんの話です。ある時幼稚園のPTAの講演会で、「お母さんは自分の子供にお父さんの存在意義を積極的に教える事が大切です」と教えたそうです。そうすると3週間後に講演を聞いたあるご婦人から手紙を受け取りました。

「この前の講演会、本当にありがとうございました。お話しを聞いて私は本当には恥ずかしかった。夫は結婚してから今に至るまで、魚市場で勤めている者です。だから朝早くて、4時には出かけなければ間に合いません。私はいつも3時半に起きてお弁当を作ります。初めは喜んでやっていました。もう十何年もお弁当を作り続けていますが、気持ちは随分変わりました。なぜ3時半に起きて彼のお弁当を作らなきゃならないのか。なんでパンじゃいけないのか。だんだん深刻になり、この人と結婚したのは間違いだったとさえ思うようになりました。でも講演会に出て目の向きを変えたのです。毎日自分たちを養ってくれるために雪の中も雨の中も毎朝4時に出かけてくれる夫の存在が、どれほど感謝すべきかと考えるようになったのです。」

それから二週間もたたないうちにご主人が大変面白いことを言いました。

「最近お弁当がおいしい。」

彼は奥さんの決心を全く知らないのです。しかしお弁当の味が変わった事はわかりました。人を尊敬するという事は、抽象的なことではなく、実際的なことなのです。本当に人を尊敬するならばお弁当の味までが変わるのです！

男は敬われる事によってものすごい力をもらいます。妻や子供たちに敬われると、男は、「ようし、がんばんべえ！」と言って、家族のために夫、父親としての役割を、命をかけて果たすようになるのです。日本の男性の約6割が何らかの恐怖と不安を持って仕事に出かけていると言われる今日、奥様方はぜひ積極的にご主人に感謝してください！

い
も
も
あ
り
が
と
う

